

市民活動センター「元気通信」

生き生きいるま 人・まち・自然

〒358-0003 埼玉県入間市豊岡 4-2-2 TEL/04-2964-2511 FAX/04-2964-2519
Eメール/ shimin@ictv.ne.jp <http://iruma-sk.c.seesaa.net/>

まちづくり勉強会

地元で活動する多彩な顔ぶれの講師を迎え、団体活動やその体験からそれぞれのまちづくりの話を伺い、参加者と意見交換を行う目的で、まちづくり勉強会を6回企画しました。

第一回 11月2日 入間市視覚障害者ガイドヘルプの会「あいあい」 森本 文江 さん



団体の「活動をとおして思うこと」をもとに、視覚障害者ガイドヘルプやこれからの団体の活動方向について話されました。また、視覚障害者の状況を理解するため、参加者を対象にアイマスクを着用して、机の周りを回るなどの実技体験を行いました。参加者からは、「当事者の立場だけでなく会の立場について話されたことが良かった」との意見があった。

第二回 11月16日 いるまファミリー・サポートセンター（ファミサポ） 遠藤 真奈美 さん



「いるまファミサポ、広がっています助け合う子育て」という資料をもとに、ファミサポとは、利用の仕組みとは、活動状況は、についての説明と、活動して良かったことや困ったこと・見えてきたことなどを話されました。参加者からは「子育てしやすいまちが地域の活性化につながるという意味が理解できた」、「子育て中のお母さんにも聞かせたかった」等の意見があった。

第三回 12月14日 つなごろう入間 岡崎 幸子 さん



「ボランティア活動に魅力はあるのか」と題して、自己実現を目指して歩んだ道や現在従事している数種類のボランティア活動の内容について話されました。参加者からは「雑誌の編集、書道教師、会社経営、大学での学びなどの事例がとても興味深かった」また、「豊富な経験が今の岡崎さんの魅力となっているのですね」との意見があった。

第四回 1月11日 NPO法人加治丘陵山林管理グループ 大山 博 さん



「加治丘陵の豊かな自然や貴重な小動物の保全活動を通して、自然と人のふれあいの場が共有できるように、環境の整備をしています」との説明後、具体的な活動内容（間伐・下草刈・間伐材の再利用・遊歩道の整備・カブトムシ採り大会など）について話されました。参加者から「会の実情がよく理解できた」、「参加者同士での会話時間があったのが良かった」などの意見があった。

第五回 1月25日 悠々会 奥田 正人 さん



「悠々会は、一言で言うと楽しく学ぶ会です」との第一声から、会の結成経緯、会の目的、活動内容について説明があった。原則月1回の史跡探訪を兼ねた社会見学は、各月毎に担当(自発的)する会員が計画案を作っていること、そして常に「楽しく」という要素が入っていることなどの説明があった。これまでの活動記録映像が流されている時は、参加者一同食い入るように見ていた。

次回

第六回 2月8日(土) ザ・架け橋、ストーリー工房 山下 英雄 さん

「いるまを元気にする人財塾」が開催されました。

まちサボは、平成25年度埼玉県共助社会づくり支援事業に採択された「いるまを元気にする人財塾」を入間市と連携して実施した。「人財塾」は、自身の経験を活かす場を求める退職後世代の方々と、市民活動の担い手を確保したいNPO・市民活動団体をマッチングし、まちづくりの新しい担い手づくりを行う取り組みです。

7月から12のNPO・市民活動団体の皆様と共に、人財塾の内容、運営、役割、体験プログラム等を協議・検討する場としての「まちサポテーブル」を5回行い、塾生の受け入れ態勢を整えました。

10月31日、市民活動センターにて32名の受講者を迎え第1回ワークショップを開催しました。まず、人財塾の目的や市民活動に関する心得等の講座を行い、その後グループに分かれ、受講生同士で人財塾参加へのきっかけや思い、意気込みなどを話し合い、これまでの経験等をシートへ記入頂きました。この時点では、始めて顔を合わせる人たちがばかりだったので、幾分緊張気味でした。



11月7日の第2回ワークショップでは、12の活動団体に人財塾体験プログラムを説明して頂きました。各団体には、事業やイベントに受講生を受け入れて頂き、実際に受講生に活動を体験して頂きます。受講生は各団体の説明を熱心に聞き、体験してみたい団体をカードに記入頂きました。



11月21日の第3回ワークショップでは、各団体が個別ブースを設け、直接受講生に体験内容の説明をしました。受講生は各ブースで体験内容の詳細を聞いた後、ホワイトボードに第1希望から第3希望までの付箋を貼り、人数の調整を行い体験する団体を決定しました。各団体が熱心に話されたこともあり、複数団体の体験を希望する受講生も少なくなく、会場が熱気に包み込まれました。いよいよ受講生は教室を飛び出し、各団体に体験に取り組みます。

11月から1月にかけて各団体が体験プログラムを実施し、受講生が次々と市民活動デビューを飾りました。団体の方々がフォローして共に取り組むことで、徐々に受講生の緊張もほぐれ、自身でやるべき事を考え実践に繋げていきました。受講生の中には、体験を経て直ぐに団体へ加入を決めた方も少なくなく、団体の担い手不足の解消にも繋がり、相互に良い影響が生まれています。

受講生は体験後の思いをシートに記入し、1月23日に修了式を迎えました。25名の受講生が第1期生として「人財塾」を卒業し「実際に体験することで団体の意義や熱意を知り大変感服しました」、「身近に素晴らしい団体があることを知り、少しでも役に立ちたいと思いました」等の声を頂き、団体の方々とテーブルを囲み、各々の活動体験を熱弁していました。この「人財塾」をきっかけに、まちづくりに興味を抱き、市民活動に参加する方が一人でも多く増えていただくと大変喜ばしく思います。



活動団体紹介

このコーナーでは、市内で活動する団体の皆さんに登場いただき、活動内容やイベント情報の提供をしています。

ぶつし里山会

代表 中村 巖

TEL 04-2932-3640

いるま傾聴ボランティア（そよ風）

代表 金井 扶美子

連絡先：入間市ボランティアセンター

■山しごとで心と体を生き生きと

私達は「加治丘陵さとやま計画」の策定を機に、仏子の人を中心とした山林ボランティア団体として発足しました。現在、宮寺・藤沢・新久・鍵山等の会員を中心に構成されていて、気心が知れて、和気あいあいと楽しく活動しています。

■遥かなる里山に夢はせて

活動場所は、青少年活動センターの北側の一画にあり、毎月第三日曜日の午前九時から正午まで(雨天時は第四日曜日)です。当初、この一画の山林は荒れていたため、下草刈りと間伐を行い、チェーンソーを駆使して林床を整地しました。林は明るくすっきりとした景観に姿をかえました。

■遥かなる大地に感謝して

ヒノキの間伐材は広場の休憩所に丸椅子やテーブルとして設置し、子供達の昆虫学習の養殖床も製作しました。本年度は、植生に名札付・コナラの間伐材を使いシイタケ栽培を実施し、更に鳥の巣箱も設置を目指しています。加治丘陵の恵みに感謝しています。

■人と山がつながる未来へ

活動の一環で、植生管理の専門家である東京農工大教授の講演会、「加治丘陵さとやま計画」「まちサボ」「人財塾」に参加しています。今後、市民が自然とふれあえる場や環境学習の場、さらに子供が自然の中で様々な活動の場として活用したいと考えています。また、研修会を兼ねた親睦旅行等も行っています。昔の仏子山では、山仕事をしている人を良く見かけました。常に下草が刈られ、自然環境が維持されていました。そのような里山を目指し、活動したいと思います。「ぶつし里山会」で一緒に活動しませんか。

- ・ 専門調査委員の方から指導を受け、植生に名札を作成中



- ・ 鎌倉への研修兼親睦旅行

東日本大震災をきっかけに、日頃から地域の住民どうしがささえあうことの大切さを改めて痛感した人は多かったのではないのでしょうか。私たちの傾聴ボランティアグループも、その様な時代と社会の動きを背景に、一昨年暮れに正式発足しました。

現在入間市社会福祉協議会が主催した養成講座（H23・24年度の2回実施）を修了した約60名が、市内の高齢者介護施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、サービス、グループホームなど）や、地域で暮らしご高齢者宅に訪問しての傾聴ボランティア活動に取り組んでいます。活動をスタートしてからまだ日も浅く、本当に地域で信頼されるような実績づくりは「これから」という段階ですが、「そよ風」に参加する私たちの仲間は、「傾聴活動を通じて少しでも地域社会の役に立ちたい」という「熱い思い」をそれぞれに秘めています。私たちの活動が定着し、さらに広まっていくよう、入間市社会福祉協議会や市の高齢者福祉課からもご支援をいただいているところです。

入間市内でも、高齢の「ご夫婦世帯」や「おひとり暮らし」は確実に増えていますが、多くの方は住み慣れた地域・ご自宅ですと暮らし続けたいと願っておられます。私たちの活動は、ご高齢者や介護にあたるご家族などのお気持ちに寄り添い共感し、「傾聴」させていただくことを通して、ご本人にとっての癒しや心の支えとなり、ひいては自立生活の一助ともなることを目的としています。

そのためにも、入間市の地域福祉に関わる専門機関や諸団体との連携・交流にいっそう努めるとともに、活動のすそ野を少しずつ広げ、さらには私自身「傾聴ボランティアとしての資質」の向上にむけて、謙虚かつ着実に励むことが必要と考えています。まもなく入間市民向けの「リーフレット」も完成予定です。是非ご利用いただければ幸いです

- ・ 養成講習会風景



センターからのお知らせ



◆活動団体の強い味方！「いるま市民ひろば」について <<http://irumahiroba.jp/>>

ポータルサイト「いるま市民ひろば」では3つのサービス（イベント一覧、団体紹介、よろず掲示板）が提供され、入間市内のイベント情報や団体情報が満載です。この一年間で、なんとイベント情報 700 件、団体紹介 88 件が掲載されています。

活動団体は、市民に団体を簡単に紹介できます。また、新たな会員の募集や団体の案内に利用できます。自分の団体のイベント開催を告知したり、日頃の活動状況を市民に知らせたり、このサイトは活動団体の強い味方です。

まちサポでは、サイトの具体的な活用法について講習会を3月に開催します。自分達の活動を広く知ってもらいたい。でも団体でホームページを立ち上げるのは大変だ！告知の仕方がわからない！…という貴方、ぜひ講習会に参加して下さい。なお、日程詳細は、2月の団体交流会でご案内します。センターHPにも掲載しますのでご注目下さい。

◆団体交流会について

市民活動センター登録団体の平成 25 年度第二回交流会を次のように実施します。メールボックスに「お知らせ」を入れてありますので、申込みをお願いします。

日時：平成 26 年 2 月 23 日（日）、14 時～16 時 30 分

内容：センター利用者連絡会報告：3団体からの活動報告と参加者ディスカッション

◆協働事業について

平成 26 年度市民提案型協働事業の応募は、1 月 31 日で締め切となります。応募書類の書き方等不明なことは、まちサポ窓口か市役所自治文化課にご相談ください。

◆イルミン 10 周年記念事業について

開館 10 周年記念事業 ～きてみてイルミン～

日時：平成 26 年 7 月 12 日（土）、10：00～12：00

会場：イルミン（市民活動センター）全館

目的：入間市市民活動センター及び入間市男女共同参画推進センターの開館 10 周年を記念して、センターがより多くの市民に親しまれ、活用されることと、活動団体同士の交流を目的とします。

主催：NPO法人まちづくりサポートネット元気な入間
社会福祉法人入間市社会福祉協議会、入間市



<http://machisapo.web.infoseek.co.jp/>

編集・発行／まちづくりサポートネット元気な入間（市民活動センター内）